

現場で広がる AIによるマニュアル整備と活用



Teachme Biz AI Feature Usage Trends Report



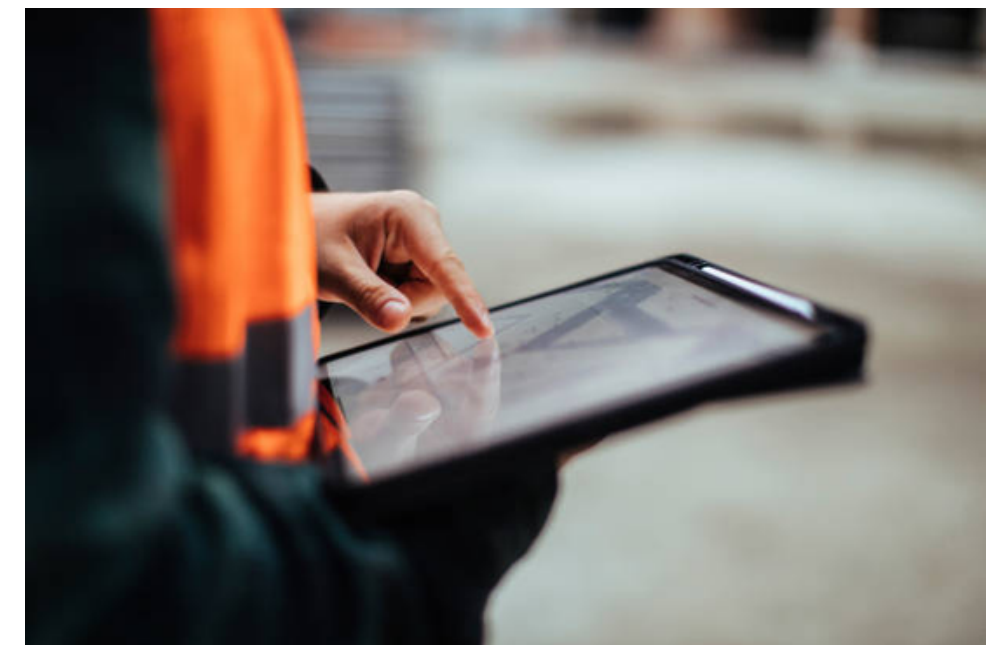
AI機能利用動向レポート 2026

00 はじめに

日本の現場は今、大きな転換期を迎えています。
技術を持つベテランの退職が相次ぎ、現場を支える担い手は経験の浅い若手や外国人材へと替わりつつあります。
より良いやり方を手順に落とし込み、最新に保ち続けることは、多忙な現場にとって現実的には非常に大きな負担です。
マニュアル整備に力を入れれば現場の手が止まり、属人化を放置すれば品質のばらつきが解消できない。この「実務の多忙さ」と「標準化」の板挟みは、多くの現場が直面してきた共通の課題です。

Teachme Bizは2024年以降、こうした課題を解消するためAI機能の拡充を進めてきました。

本レポートでは、その利用実績データ（2025年Q1～2026年Q1）をもとに、
「AIがどのように現場のマニュアル整備や活用を変えつつあるか」
について、リアルな動向をデータとともにお届けします。



01 本レポートのデータについて

■ データソース・対象期間

- データソース：Google Analytics集計データ（Teachme Biz 全Group）
- 分析対象：Q1 2025（2025/01/06～03/30）、Q1 2026（2026/01/05～03/29）
※第1週は年末年始のため両期間とも除外（第2～12週の11週間で比較）

■ 分析対象のAI機能（6種）

1. AIで動画からマニュアル半自動作成（2024/06リリース）※データ取得は2025年9月以降のため前年同期比較の対象外
2. AIでPDFからマニュアルドラフト作成（2024/12リリース）
3. AIで文章からマニュアルドラフト作成（2024/06リリース）
4. AIで動画の字幕生成（2024/06リリース）
5. 字幕からタイトル・説明文生成（2024/06リリース）
6. 文章アシスト（校正・要約・見出し重点化・言い回し）（2024/06リリース）

■ データの定義・注意事項

- 対象はTeachme Biz全利用環境のGoogle Analyticsイベント数データです
- 動画ソース別の内訳データは2025年9月以降のみ取得可能なため、前年比較には一部制約があります
- 掲載数値は分析時点（2026年3月）のものであり、今後変動する可能性があります

02 エグゼクティブサマリー

3つの数字が示す、AI活用拡大の現在地

Teachme BizのAI機能の利用状況は、この1年で大きく変容しました。以下の3つの指標が、その変化を端的に示しています。

AI機能の利用回数

2.6 倍

AI機能5種の利用回数が1Q前年同期比で約2.6倍に増加

マニュアルのAI作成比率

20%超

新規マニュアルの5本に1本以上がAIで作成された（2025 1Q比で倍増）

動画AIマニュアル作成の伸び

2.4 倍

動画AIマニュアル作成の週平均利用回数が、2025年9月～2026年3月の約半年で2.4倍に増加

これらのデータは、AI機能を利用できる環境が広がるとともに、**利用の総量が着実に拡大していることを示しています。**

03 全体トレンド

AI機能の利用回数が1年で約2.6倍——利用できる環境の広がりとともに総量が拡大

2026 1QのAI機能利用回数は、2025 1Qの2.6倍に増加しました。機能別では、文章アシスト（校正・要約など）が4.1倍と最も高い伸びを示し、AIで動画の字幕生成（2.9倍）、PDFからのマニュアル生成（2.0倍）と続いています。なお、文章からのマニュアルドラフト作成は動画ソースへの移行により減少しています。

【AI機能別 利用回数の前年同期比成長率（2025 1Q → 2026 1Q）】

機能	成長率（Q1 YoY）
文章アシスト（校正・要約等）	4.1倍
AIで動画の字幕生成	2.9倍
字幕からタイトル・説明文生成	2.2倍
PDFからマニュアルドラフト作成	2.0倍
文章からマニュアルドラフト作成	減少※
合計（5機能）	2.6倍

※動画ソース対応の拡充により、文章単独からの作成から動画を使った作成にシフトしたため

1人あたりの利用頻度は2025 1Qと2026 1Qでほぼ同水準を保っています。
利用総量の拡大はAI機能を利用できるユーザーの増加が主因とみられ、
利用者1人ひとりの活用深度は安定した水準を維持しています。

04 AI作成比率の拡大

AI作成比率が1年で倍増——新規マニュアルの5本に1本以上がAI作成に

2026 1Qにおける新規マニュアルのAI作成比率は20.5%に達しました。2025 1Qの9.8%と比べると、わずか1年で比率が2倍以上に拡大しています。さらに注目すべきは、全体の増加分の約64%をAI作成が牽引している点です。※下記図表のAI作成比率・全体成長率より算出

【新規マニュアル作成におけるAI比率の変化（2025 1Q → 2026 1Q）】

区分	2025 1Q	2026 1Q	変化（倍率・成長率）
AI作成	9.8%	20.5%	約2.6倍
非AI作成	90.2%	79.5%	10.0%
全体	—	—	25%

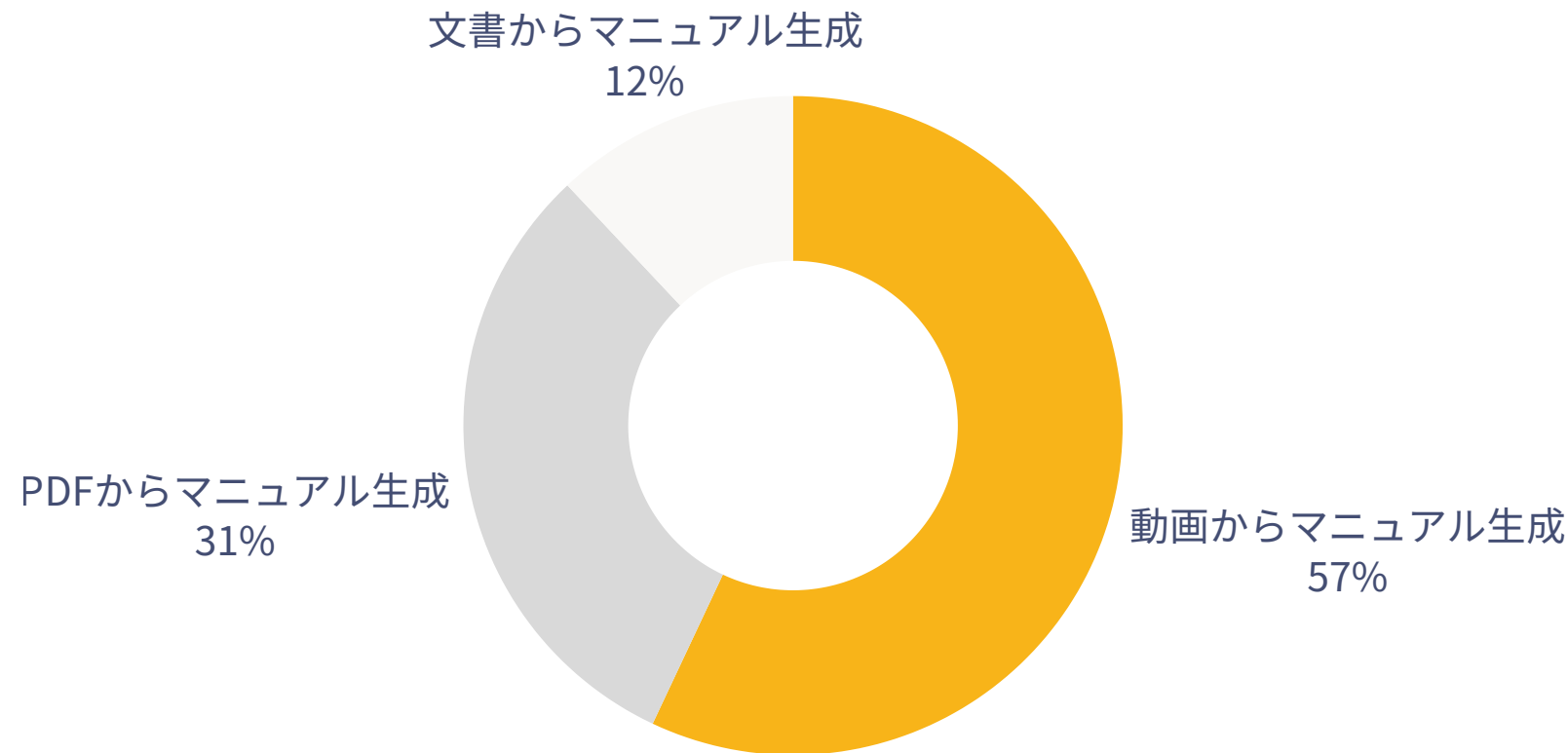
非AI作成も+10.0%と堅調に伸びており、AI導入が既存の手動作成を代替するだけでなく、**マニュアル整備そのものの総量を押し上げている**ことがわかります。「ゼロからマニュアルを作る」という高コストな工程にAIが下書きを提供することで、担当者は確認・修正・改善に集中できる環境が整いつつあります。

05 AI作成の内訳

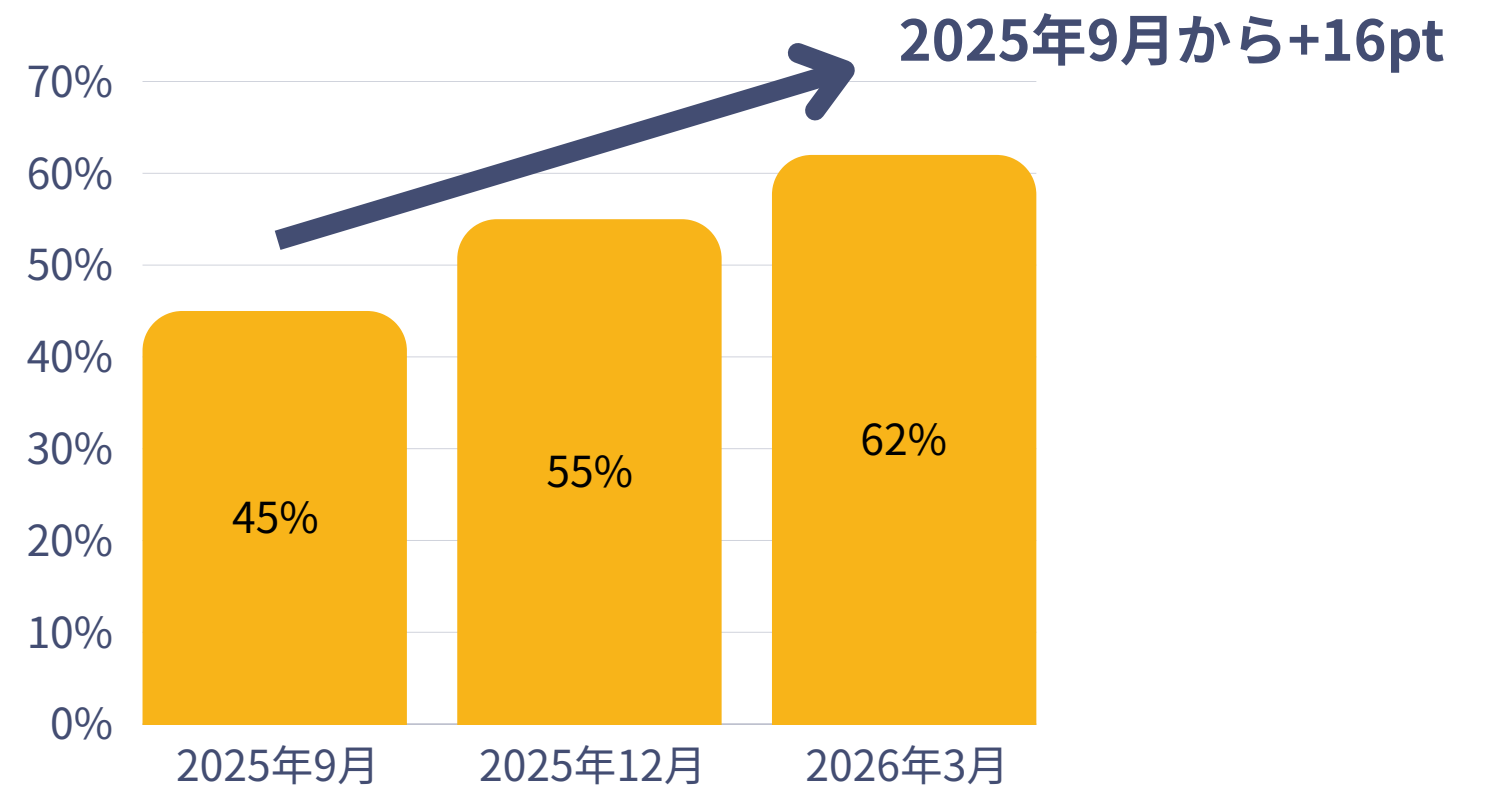
AI作成の約9割が動画・PDF由来——現場に蓄積された既存資産がマニュアルへ

AIによるマニュアル作成の内訳（2026 1Q）を見ると、動画を元にした生成が過半数（57%）を占め、PDFと合わせると約88%が非テキスト素材からの生成となっています。また、AI作成のマニュアルにおける動画活用比率も、半年で16ptアップと、高い伸びを示しています。

【AI作成方法別 構成比（2026 1Q）】



【AI作成のマニュアルにおける動画活用比率の推移】

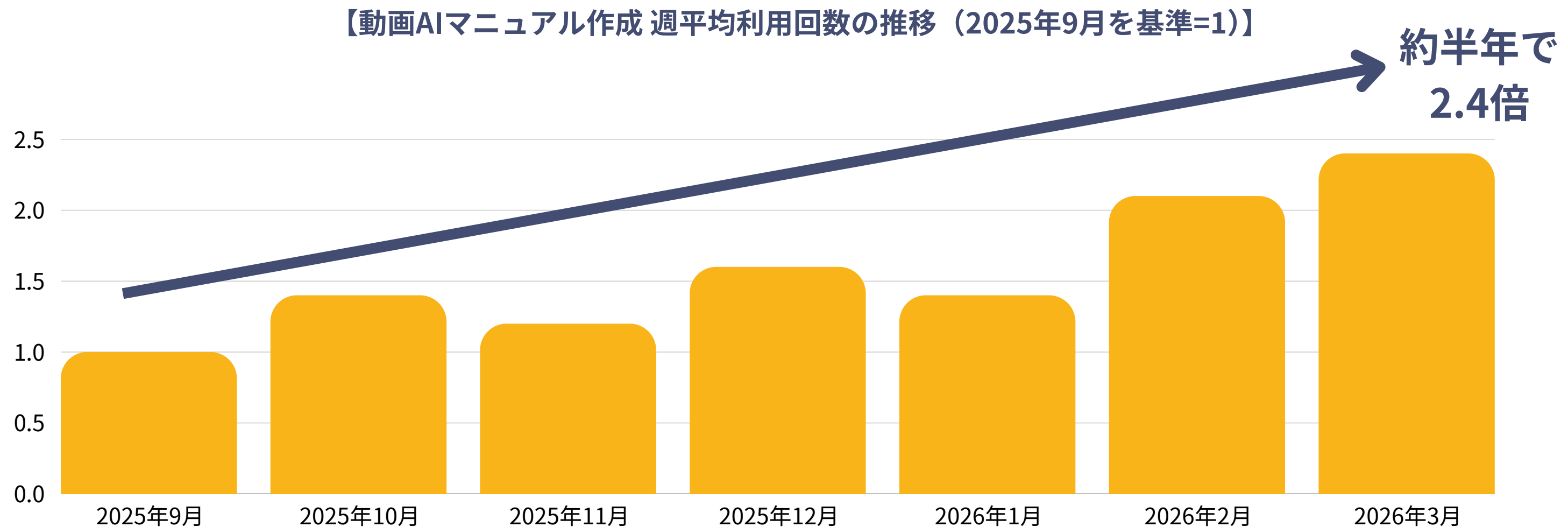


現場にすでに蓄積されている動画資産・PDF資料をAIに読み込ませるだけで構造化されたマニュアルが生成されるため、「**素材はあるのに整備が追いつかない**」という状況の解消につながっています。

06 動画AIマニュアル作成の拡大

■ 動画×AI——「撮って、アップロードするだけ」が半年で週2.4倍に

動画マニュアルは高品質な情報伝達手段として注目されてきた一方、「撮影・編集・テキスト化」の3工程が担当者に負担をかけてきました。Teachme BizのAI機能により、この工程は大きく簡略化され、動画を元にしたAIマニュアル作成の週平均利用回数は、2025年9月から2026年3月にかけて約半年で2.4倍に拡大しました。

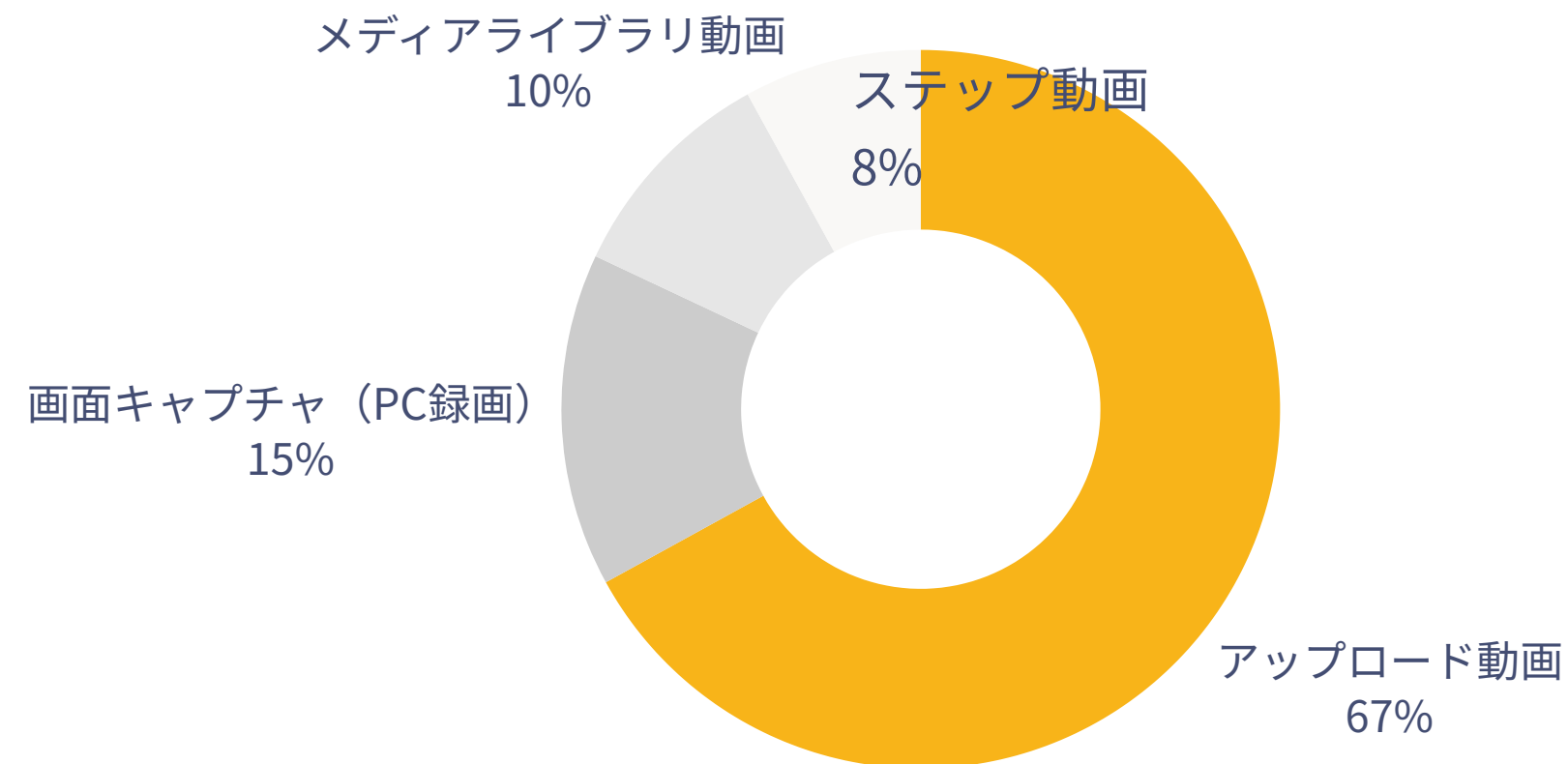


07 動画ソース別内訳

■ アップロード動画が約7割——現場の撮影動画がそのままマニュアル化へ

動画AIマニュアル作成の成長を牽引しているのは、どのような動画素材なのか。2026 1Qの動画ソース別内訳を見ると、**アップロード動画が約7割で最多**となっています。

【動画ソース別 構成比 (2026 1Q)】



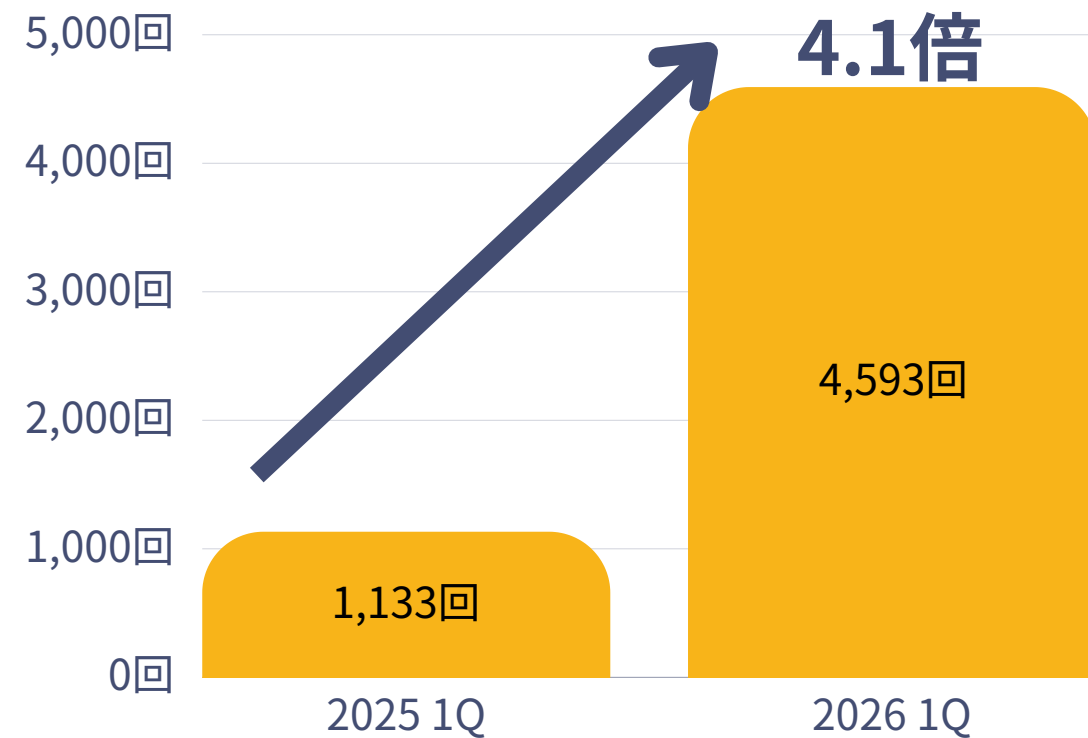
「現場でスマートフォンを使って動画を撮影→アップロード→AIがマニュアル化」というワークフローが主流になっていることを意味しており、**現場の誰もがマニュアルを作れる環境が整いつつあります。**

08 文章品質の向上

文章アシストが前年同期比4.1倍——9種類のメニューが「誰が書いても一定品質」を支える

マニュアルの品質は、これまで書き手のスキルや経験によって大きくばらつく傾向がありました。Teachme Bizの文章アシスト機能の利用回数は、2026 1QでQ1前年同期比約4.1倍の急成長を記録しており、機能別の伸び率では最高値となっています。

【文章アシスト 1Q週平均利用回数の前年比較】



【文章アシスト 9種類のメニュー】

カテゴリ	文章アシストのメニュー（全9種類）
品質向上	校正（誤字脱字・文法）／見出し重点化
情報整理	要約、箇条書き化
表現最適化	動詞表現に変換／口語変換
多様性・包摂	やさしい日本語／ふりがな追加
アクセシビリティ	読み上げ最適化

「人によって表現が違う」「大切な情報が抜ける」といったマニュアル品質のばらつきをAIが平準化し、組織全体の情報伝達の一貫性を支えています。技術や手順を「個人の記憶」から「組織の資産」へ転換する基盤として、文章アシストの果たす役割は大きくなっています。

09 「作る」が増えて「使われる」も増える

■ 総閲覧2,400万回超・3月は前年比+28%急伸——作成と活用の好循環を創出

AIによるマニュアル作成の増加は、閲覧数にも好影響をもたらしています。2026 1Qの総閲覧回数は2,400万回を超え、2025 1Q比で+6.6%増加しました。

【マニュアル閲覧数 前年同期比成長（2026 1Q）】

指標	成長（1Q YoY）
アプリ閲覧（iOS+Android）	+5.2%
Web閲覧	+8.5%
総閲覧	+6.6%

特筆すべきは3月の動向です。閲覧・新規作成ともに前年比+27~28%と急伸しており、年度替わりの業務引継ぎや新入社員研修のタイミングに合わせて、マニュアルが技術伝承を支えている可能性を示しています。

【月別 閲覧・新規作成 前年比推移（2026年1月~3月）】

月	閲覧YoY	新規作成YoY
1月	-0.7%	+28.4%
2月	+0.5%	+17.9%
3月	+28.2%	+27.2%

AIで作成のハードルが下がり、整備されたマニュアルが閲覧・活用される。
この好循環により、組織の知識共有と現場の余力創出につながる兆しが見えています。

まとめ

AIによるマニュアル整備の拡大が、現場の余力を生み出す兆しが見られます

本レポートで見てきたデータは、Teachme BizのAI機能の利用が1年で大きく広がり、マニュアルの作成から活用までの現場の変化を数値として示すものです。

指標	データ
AI機能の利用回数	前年同期比約2.6倍（2026 1Q）
新規マニュアルのAI作成比率	9.8% → 20.5%（1年で倍増）
動画AIマニュアル作成の週平均利用回数	半年で2.4倍（2025年9月～2026年3月）
文章アシストの利用回数	前年同期比約4.1倍（機能別で最高）
総閲覧回数（2026 1Q）	2,400万回超・前年比+6.6%

おわりに

**AI機能の活用は、マニュアル作成数の増加にとどまらず、
閲覧・活用の増加にもつながる好循環を生み出しています。**

**Teachme Bizは今後も、技術伝承や人手不足といった現場課題に向き合い、
AI機能をはじめとするさらなる機能拡充を通じて現場の余力を生み出し、
リーンオペレーションの実現を支援してまいります。**